

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

特許第3466993号  
(P3466993)

(45) 発行日 平成15年11月17日 (2003. 11. 17)

(24) 登録日 平成15年 8 月29日 (2003. 8. 29)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I
G 0 6 F 17/30	3 4 0 1 1 0	G 0 6 F 17/30
13/00	5 4 0	13/00
17/60	3 2 6	17/60
		3 4 0 A 1 1 0 F 5 4 0 P 3 2 6

請求項の数 6 (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2000-161540(P2000-161540)	(73) 特許権者	000166627 五洋建設株式会社 東京都文京区後楽 2 丁目 2 番 8 号
(22) 出願日	平成12年 5 月31日 (2000. 5. 31)	(72) 発明者	粕谷 英行 東京都文京区後楽 2 丁目 2 番 8 号 五洋 建設株式会社内
(65) 公開番号	特開2001-344269(P2001-344269A)	(74) 代理人	100107272 弁理士 田村 敬二郎 (外 1 名)
(43) 公開日	平成13年12月14日 (2001. 12. 14)	審査官	野崎 大進
審査請求日	平成12年 6 月 1 日 (2000. 6. 1)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 商品またはサービスの情報提供方法及びシステム

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザに提供される商品またはサービスに関連するキーワードをその関連度とともにインターネットに接続可能なサーバが登録するステップと、ユーザ入力による検索語に基づいてインターネットに接続可能な検索サーバが検索するステップと、前記検索サーバが前記入力された検索語に基づいて入力状況に関する情報を認識するステップと、前記サーバが前記検索語と前記サーバに登録されたキーワードとを一定期間内に同一ユーザによる検索語を累計して関連付けるステップと、前記サーバが前記関連付けられた情報に前記キーワードの関連度に基づいて第 1 のポイント付けをしかつ前記検索サーバからの前記入力状況に関する情報に基づいて第 2 のポイント付けをすることで重みを付けるステップ

2

と、  
前記サーバが前記重みを付けられた情報に基づいてユーザにその商品またはサービスに関する情報を知らせるステップと、を含むことを特徴とする商品またはサービスの情報提供方法。

【請求項 2】 前記サーバが前記情報をユーザに知らせるステップの前に、ユーザが前記情報を受け取る意志があるか否かを確認するステップを更に含む請求項 1 に記載の商品またはサービスの情報提供方法。

【請求項 3】 ユーザが前記検索サイトにアクセスしたときに前記サーバが識別情報を付与し、前記識別情報によりユーザを前記検索語と関連させて識別する請求項 1 または 2 に記載の商品またはサービスの情報提供方法。

【請求項 4】 ユーザに提供される商品またはサービスに関連するキーワードをその関連度とともに登録しかつ

10

3

インターネットに接続可能なサーバと、  
ユーザ入力による検索語に基づいて検索しかつインター  
 ネットに接続可能な検索サーバと、を具備し、  
前記検索サーバは前記入力された検索語に基づいて入力  
状況に関する情報を認識し、  
前記サーバは、前記検索語と前記サーバに登録されたキ  
ーワードとを一定期間内に同一ユーザによる検索語を累  
計して関連付け、前記関連付けられた情報に前記キー  
ワードの関連度に基づいて第 1 のポイント付けをしかつ前  
記検索サーバからの前記入力状況に関する情報に基づい  
て第 2 のポイント付けをすることで重みを付け、前記重  
みを付けられた情報に基づいてユーザにその商品または  
サービスに関する情報を知らせることを特徴とする商品  
またはサービスの情報提供システム。

【請求項 5】 前記サーバは、ユーザが前記情報を受け  
 取る意志があるか否かを確認する確認手段を含む請求項  
 4 に記載の商品またはサービスの情報提供システム。

【請求項 6】 前記サーバは、ユーザが前記検索サイト  
 にアクセスしたときに識別情報を付与し、前記識別情報  
 によりユーザを前記検索語と関連させて識別する識別手  
 段を含む請求項 4 または 5 に記載の商品またはサービスの  
 情報提供システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネット上  
 の検索サイトで検索に使用された検索語に対応してユー  
 ザに商品またはサービスに関する情報を提供する方法及  
 びシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】インターネット上で一般のユーザが実際  
 の商品やサービスを表示するサイトに至った場合、その  
 サイトの閲覧回数をカウントし、その商品またはサービ  
 スの一般からの関心度を計るシステムは広く利用されて  
 いる。

【0003】また、インターネットや対面等の手法に関  
 わらず、一般消費者や利用者が一定の商品やサービスに  
 ついてどのような関心度や知識や購入予定等を持っている  
 か調査するために、種々の質問項目に対して一般消費  
 者や利用者から回答を得るようにしたアンケート形式が  
 一般的である。

【0004】ところが、インターネットや対面等の手法  
 に関わらず、アンケートによる調査を行った場合、質問  
 の形式、回答する相手先やその他の状況により、回答者  
 の潜在的意識とは異なった回答を得ることがあった。ま  
 た、インターネット上で一般のユーザが実際の商品やサ  
 ービスを表示するサイトに至った回数をカウントする場  
 合では、該当のサイトに至ることができなかったユーザ  
 の潜在的な要求を把握することができなかった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上述のよう

4

な従来技術の問題に鑑み、インターネットを利用する一  
 般のユーザの商品やサービスに関する潜在的な意識や要  
 求を正確に把握することにより、ユーザ対しの確かつ  
 タイムリーに商品またはサービスに関する情報を提供で  
 けるようにした方法及びシステムを提供することを目的  
 とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するた  
 めに、本発明による商品またはサービスの情報提供方法  
 は、ユーザに提供される商品またはサービスをインター  
 ネットに接続可能なサーバに登録するステップと、ユー  
 ザがインターネット上で検索サイトで検索するステップ  
 と、前記検索サイトでユーザが検索した検索語と前記サ  
 ーバに登録された商品またはサービスとを関連付けると  
 ともに、この関連付けられた情報に重みを付けるステ  
 ップと、前記重みを付けられた情報に基づいてユーザにそ  
 の商品またはサービスに関する情報を知らせるステ  
 ップとを含む。

【0007】この商品またはサービスの情報提供方法に  
 よれば、ユーザがインターネット上で検索した検索語に  
 基づいて登録された商品またはサービスと関連付けるの  
 で、その登録された商品またはサービスに関しユーザの  
 潜在的な意識や要求を正確に把握できる。更にその関連  
 付けられた情報に重みを付け、その重みを付けられた情  
 報に応じてユーザにその商品またはサービスに関する情  
 報を知らせるので、ユーザ対しの確かつタイムリーに  
 商品またはサービスに関する情報を提供できる。

【0008】この場合、前記情報をユーザに知らせるス  
 テップの前に、ユーザが前記情報を受け取る意志がある  
 か否かを確認するステップを更に含むことにより、ユー  
 ザは必要な情報か否かを判断することができ、便利であ  
 る。

【0009】また、一定期間内に同一ユーザによる検索  
 語を累計して前記関連付けステップを実行することによ  
 り、一回の検索サイトの利用のみならず複数回の利用を  
 含めて、一定期間内におけるユーザの潜在的な要求や意  
 識を把握することができる。

【0010】また、ユーザが前記検索サイトにアクセス  
 したときに識別情報を付与し、前記識別情報によりユー  
 ザを前記検索語と関連させて識別することにより、ユー  
 ザを識別することができる。

【0011】また、前記サーバへの登録ステップでその  
 商品またはサービスに関連するキーワードをその関連度  
 とともに登録し、前記関連付けステップで前記検索語と  
 前記キーワードとを比較し一致したときに前記関連度  
 に基づいて前記関連付けられた情報に重みを付けるよう  
 にできる。

【0012】次に、本発明による商品またはサービスの  
 情報提供システムは、ユーザに提供される商品またはサ  
 ービスを登録するとともにインターネットに接続可能な

50

サーバと、インターネットに接続されて検索サイトとして検索する検索サーバと、前記検索サーバでユーザが検索した検索語と前記サーバに登録された商品またはサービスとを関連付けるとともに、この関連付けられた情報に重みを付ける関連付け手段と、前記重みを付けられた情報に基づいてユーザにその商品またはサービスに関する情報を知らせる情報連絡手段とを具備する。

【0013】この商品またはサービスの情報提供システムによれば、上述の商品またはサービスの情報提供方法を実行することができ、インターネットを利用する一般のユーザの商品やサービスに関する潜在的な意識や要求を正確に把握し、ユーザに対的確かつタイムリーに商品またはサービスに関する情報を提供できる。

【0014】この場合、前記情報連絡手段は、ユーザが前記情報を受け取る意志があるか否かを確認する確認手段を含むことが好ましく、また、前記関連付け手段は、一定期間内に同一ユーザによる検索語を累計し、前記累計された検索語に基づいて関連付けて重みを付けるように構成できる。

【0015】また、ユーザが前記検索サイトにアクセスしたときに識別情報を付与し、前記識別情報によりユーザを前記検索語と関連させて識別する識別手段を含むことが好ましく、また、前記サーバは商品またはサービス毎に関連するキーワードをその関連度とともに記憶し、前記関連付け手段は前記検索語と前記キーワードとを比較し一致したときに前記関連度に基づいて前記関連付けられた情報に重みを付けるようにすることが好ましい。

【0016】なお、上述の関連付け手段、連絡情報手段、確認手段及び識別手段は、上記サーバまたは別のサーバがそれらの機能を持つように構成できる。また、サーバとは、一定の要求に対して特定のサービスを処理するコンピュータ装置及びその機能を意味する。

【0017】また、前記検索サーバは入力された検索語に基づいて入力状況に関する情報を認識し、前記関連付け手段は前記入力状況に関する情報を含めて前記重みを付けるようにすることができる。

【0018】また、前記サーバは前記情報連絡手段による情報連絡フォームを記憶し、前記情報連絡手段は前記記憶された情報連絡フォームで情報をユーザに知らせるようにでき、また、前記情報連絡手段は電子メールとすることができるが、郵送等の他の手段であってもよい。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、本発明による実施の形態について図面を用いて説明する。図1は本発明の実施の形態による商品（サービス）の情報提供システムの全体を概念的に示す図である。

【0020】図1に示すように、サービスセンターは、そのサーバに予め企業A、B、・・・により提供される商品（サービス）を登録し更にその商品（サービス）に関する関連キーワード及び電子メール（DM）のフォー

ム・デザイン等を登録しておく。利用者（ユーザ）a、b、・・・がパソコン（PC）によりインターネットを介して検索サイトで検索した場合、その検索サーバは検索語及び入力状況の検索状況に関する情報をサービスセンターのサーバに提供する。

【0021】サービスセンターのサーバは、その利用者が検索サイトで用いた検索語と登録されている関連キーワードとを予め決められた規則に従い関連づけし、この関連付けられた情報についてポイント付けまたは順序付け等を行うことにより重み付けし、この重み付けした情報に基づいてプロバイダに対し電子メールの内容及びその送付を指示する。プロバイダのサーバは、この指示に基づいて利用者に対しその商品（サービス）に関する情報についての電子メールを送付する。

【0022】以上のように、インターネットのユーザが検索サイトを利用したときにその検索語を用いることにより、一般のアンケートによる調査とは異なって一般のユーザの商品やサービスに関する潜在的な意識や要求を正確に把握することができる。これにより、ユーザに対的確かつタイムリーにその検索語に関連した自社商品（サービス）に関する情報を提供できる。また、従来の企業のサイトの閲覧回数をカウントし、その商品またはサービスの一般からの関心度を計るシステムよりもユーザの商品やサービスに関する意識や要求をより詳しく正確に把握することができる。

【0023】図1の商品（サービス）の情報提供システムについて図2～図5により更に詳しく説明する。

【0024】図2は、企業等が提供する商品またはサービス及びその商品（サービス）毎にキーワードを図1のサービスセンターのサーバに登録する際の画面の例を示すものである。まず、登録を行う企業に関する企業情報の覧11には、会社コード、会社名、担当者、担当者の属する部署を順に入力する。次に、登録商品（サービス）名の覧12には、登録する商品またはサービスを入力する。そして、この商品またはサービスに関連する関連キーワードをキーワード覧13に関連度1～5に分類して入力する。関連度1は関連度が最も大きく、順に関連度5が最も小さい。キーワード覧13の関連度1～5の各覧には複数のキーワードが入力可能である。

【0025】図2の下方は、利用者へ送る電子メールのフォーム14を登録する覧である。後述のように一定の条件を満たした場合に、このデザインのフォーム14で電子メール（DM）がユーザに送信される。

【0026】図3は、検索サイト運営会社の提供する検索サイトの検索画面（a）、及びその検索結果を表示する画面（b）を示すものである。かかる検索サイトはいわゆる検索エンジンとして実用化されている。

【0027】ユーザは図3（a）の検索ワードの入力欄21に検索語を1つまたは複数入力することができる。入力欄21に検索語を入力し、検索ボタン21aをクリ

ックすると、検索サイト運営会社の検索サーバで検索が行われ、その結果が図3(b)のように表示される。また、検索結果として、図3(b)の入力された検索語に基づいて選択されたジャンルを表示する語がジャンル表示覧22に表示される。また、検索語に対応して検索されてヒットした各サイトを表示する語がサイト表示覧23に表示される。各サイトには、その表示覧23の各表示部分をクリックすることによりアクセスすることができる。

【0028】検索サイトでは、上述の入力欄21の検索語を認識し、図1のサービスセンターのサーバに提供する。また、その検索語が、入力された語(入力状況1)であるか、ジャンル表示覧22で選択された語(ジャンルを表示する語)(入力状況2)であるか、またはサイト表示覧23で選択された語(サイトを表示する語)(入力状況3)であるかを認識し、その情報が検索語の入力状況に関する情報として図1のサービスセンターのサーバに提供されるようになっている。入力状況1~3に基づく区分によりポイント付けが行われる。なお、ジャンル表示覧22を持たないサーチエンジンの場合には入力状況1, 3が認識されてサービスセンターのサーバ\*

「入力状況n」に該当する検索語 =  $g(n)$  (2)

【0035】従って、図3(a), (b)のような検索を行った場合、入力された語及びジャンル表示覧22で選択された語(ジャンルを表示する語)が「建築」であり入力状況1, 2であるので、検索語の入力状況に基づく検索語「建築」のポイントは「 $g(1)$ 」及び「 $g(2)$ 」となる。

【0036】次に、以上のような各商品(サービス)のポイント付けの集計を次のように行う。登録した関連キーワードの関連度に応じたポイント $f(x)$ と検索語の入力状況に応じたポイント $g(x)$ とを用い、「関連キーワード」=「検索語」となる語句が登録した商品(サービス)に寄与するポイントを関数 $h(x)$ を用いて次式(3)のように表す。

$P1 = h(f(3), g(1)) * h(f(3), g(2)) * \dots * (4)$

【0042】以上のようなポイントの大小を、各検索サイト利用者の各登録企業が登録した商品(サービス)に対する関心度の大小とし、順位付けを行う。なお、演算規則\*は、和や積の演算であってよいが、これらに限定されるものではない。

【0043】次に、図4により、図1のプロバイダから検索サイトを利用したユーザに対し電子メール(DM)の受取るか否かを選択させる選択通知の画面を三例(a), (b), (c)示す。図4(a)は、届いた電子メールを企業毎に分類して表示したものであり、アンダーライン31の上をクリックすると、その電子メールが開かれ、ユーザが読むことができる。図4(b)は、上述のようにポイント付けられた順序で電子メールを表示するものである。図4(c)は、電子メールのカテゴリ

\*に提供される。

【0029】次に、図2のように関連度とともに登録された関連キーワードが検索語と関連付けられた場合にその関連付けられた各情報について重みを付けるポイント付けについて説明する。この関連づけ及び重み付けはサービスセンターのサーバで行われる。

【0030】まず、登録した関連キーワードと検索語とを比較し一致した場合、登録した関連キーワードの関連度に応じ、関数 $f(x)$ を用いて次式(1)のようにポイント付けを行う。

【0031】

「関連度n」に登録した語句 =  $f(n)$  (1)

【0032】従って、図2のような関連キーワード登録を行った例では、入力された検索語の「建築」に関し、その関連度nは3であり、関連キーワード「建築」のポイントは「 $f(3)$ 」となる。

【0033】また、検索語の入力状況に基づくポイント付けは、検索語の入力状況に応じ、関数 $g(x)$ を用いて次式(2)のようにポイント付けを行う。

【0034】

【0037】

$h(f(x), g(x))$  (3)

【0038】従って、図2のような関連キーワード登録を行い、図3(a), (b)のような検索を行った場合、検索語「建築」が登録商品(サービス)「就職案内」に寄与するポイントは、次のようになる。

【0039】「 $h(f(3), g(1))$ 」及び「 $h$

( $f(3), g(2)$ )」

【0040】これらを演算規則\*で集計した結果、各商品(サービス)に与えられるポイントが決定する。従って、検索語「建築」が商品(サービス)「就職案内」に与えるポイントP1は次のように表現される。

【0041】

リー別に電子メールを表示するものである。これにより、ユーザは電子メールで送信されてきた情報が必要な情報か否かを判断することができる。

【0044】上述のようなユーザ宛の商品(サービス)に関する情報を含んだ電子メールの画面の例を図5に示す。図5の情報覧34には、予め図2で登録されたフォーム14の内容が表示され、これにより、ユーザに対し提供すべき内容の情報を知らせることができる。ユーザは更に詳しい情報が必要な場合には、ユーザ情報覧35に一定の情報を入力してから送信先のアンダーライン32の上をクリックするか(これにより詳しい資料の送付を請求することができる)、その企業のホームページを開くアンダーライン33の上をクリックする(このホームページにより更に詳しい情報を知ることができる)。

以上のようにして、ユーザに対し図5のような情報を提供することができる。

【0045】なお、図4、図5において、アンダーライン31、32、33の上をクリックした場合には、その都度、点数が付与され累計されて一定の点数に達するとユーザに対し種々の特典が与えられるようになっている。

【0046】次に、図6により、以上のような商品(サービス)の情報提供システムの使用について説明する。まず、登録企業は、提供できる商品またはサービス毎に、例えば図2のようにその商品またはサービスの関連キーワードをキーワード覧13に関連度別に分類して入力し登録しておく(C01)。また、図2のフォーム14のように、商品またはサービス毎にユーザに送信するデザインしたフォームを登録する(C02)。更に、電子メール送付の対象となる順位数またはポイント数を登録する(C03)。かかる各登録は、本情報提供システムによるサービスを行うサービスセンターのサーバに行う。

【0047】次に、検索サイトの利用者がインターネットに接続し図3(a)のように検索語を入力し(S01)、プロバイダのサーバは、その接続毎に識別番号(ID)を付与し発行し、検索サイト運営会社に通知する(S02)。検索サイト運営会社のコンピュータは、識別番号(ID)毎に、図3(a)のように入力された検索語及び/または図3(b)のように選択された検索語を認識し、これによりコンピュータ検索を行うと同時に、検索語に関する入力状況を認識し、サービスセンターに対しこれらの情報を提供する(S03)。この識別番号(ID)の付与により、以降の各ステップにおいてユーザを識別することができる。

【0048】サービスセンターのコンピュータは、商品またはサービス毎に入力または選択された検索語に関連付けて、登録した関連キーワードの関連度に応じ、上述の式(1)のようなポイント付けを行う(S04)。また、式(2)のように検索語毎に入力状況に応じたポイント付けを行う(S05)。このような各ポイント付けを基に、上述の式(3)、(4)により各ポイント付けを集計し、順位付けを行う(S06)。次に、C03で登録された電子メール送付の対象となるポイント数に基づいてこのポイント数以上のものや上位のものについてプロバイダに対し電子メールの送付の依頼をする(S07)。例えば、合計ポイントが10ポイントとなる商品(サービス)について、あるいは同一企業の商品(サービス)のうち、合計ポイントが上位3商品(サービス)について、電子メールの送付を依頼するようである。

【0049】次に、プロバイダのコンピュータは、上述のサービスセンターの依頼があると、識別番号を照合し、図4のように、検索サイトの利用者に対し該当する電子メールを受け取るか否かを問い合わせをし(S0

8)、検索サイトの利用者は、その電子メールを受け取るか否かを選択する(S09)。受け取ることを選択すると、図8のような電子メールを利用者に送付し(S10)、利用者はこの電子メールを受け取り、必要に応じて企業とコンタクトを撮ることができる(S11)。なお、この場合、検索サイトの利用者毎に電子メールの送付やホームページのアクセスの回数の集計を行い、その合計回数に応じたサービスを提供するようである。

【0050】また、サービスセンターのコンピュータは、利用者への電子メールの送付毎にその送付実績を、更に月の累計送付回数を商品(サービス)別に登録企業に通知し(S12)、登録企業はその都度この通知を受け取る(C04)。

【0051】以上のようにして、本実施の形態の商品またはサービスの情報提供システムによれば、検索サイトの利用者が入力した検索語に基づいてその利用者の潜在的な要求を把握することができ、それに応じて必要な商品やサービスの情報を提供することができ、企業の活動・営業等を効率よく実行することができる。

【0052】なお、図6は、利用者が検索サイトを1回利用した場合に、電子メールを送るまでのステップを示すが、本発明はこれに限定されず、同一の利用者を識別番号で識別し、一定期間(例えば、24時間、3日、1週間、1ヶ月等の任意の期間)で累計(複数の利用を含む)し、上述のようなポイント付け、順位付けを行うようにしてもよい。

【0053】以上のように本発明を実施の形態により説明したが、本発明はこれらに限定されるものではなく、本発明の技術的思想の範囲内で各種の変形が可能である。例えば、図6においてプロバイダと検索サイト運営会社とは同一の組織であってよく、またサービスセンターとプロバイダや検索サイト運営会社が同一の組織であってもよく、更に三者が同一の組織であってもよいことは勿論であるから、各サーバや検索サーバがどの組織に属していても、本発明の情報提供システムの範囲内である。

【0054】

【発明の効果】本発明による商品またはサービスの情報提供方法及びシステムによれば、インターネットを利用する一般のユーザの商品やサービスに関する潜在的な意識や要求を正確に把握でき、これにより、ユーザに対し的確かつタイムリーに商品またはサービスに関する情報を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態による商品(サービス)の情報提供システムの全体を概念的に示す図である。

【図2】本実施の形態による商品(サービス)の情報提供システムにおいて企業が提供する商品またはサービス毎にキーワードの登録を行う際の画面の例を示す図である。

【図3】本実施の形態による商品（サービス）の情報提供システムにおいて検索サイトの検索画面（a）及びその検索結果を表示する画面（b）を示す図である。

【図4】図1のプロバイダから検索サイトを利用したユーザに対し電子メール（DM）の受取るか否かの選択通知の画面を三例（a）、（b）、（c）示す図である。

【図5】本実施の形態による商品（サービス）の情報提供システムにおいて商品（サービス）に関する情報を含\*

\* んだユーザ宛の電子メールの画面の例を示す図である。  
【図6】本実施の形態による商品（サービス）の情報提供システムの使用ステップを示す図である。

【符号の説明】

- 1 1 企業情報の覧
- 1 2 登録商品（サービス）名の覧
- 1 3 キーワード覧
- 1 4 電子メールのフォーム

【図2】

商品(サービス)登録画面例

11 { 会社コード : 543-0000  
会社名 : 五洋建設株式会社  
担当者 : 粕谷  
担当者部署 : 建築部門

12 { 登録商品(サービス名) : 就職案内

関連キーワードを入力して下さい(スペースに続けて複数入力可)。

13 { 関連度1 : 五洋  
関連度2 : 就職 転職 求職  
関連度3 : 建設 土木 建築 設備 機械 電気 設計 施工 営業 事務  
関連度4 :  
関連度5 :

DMデザイン(JPEG形式で添付願います。)

14 { ○ ○ ○ ○ ○ ○

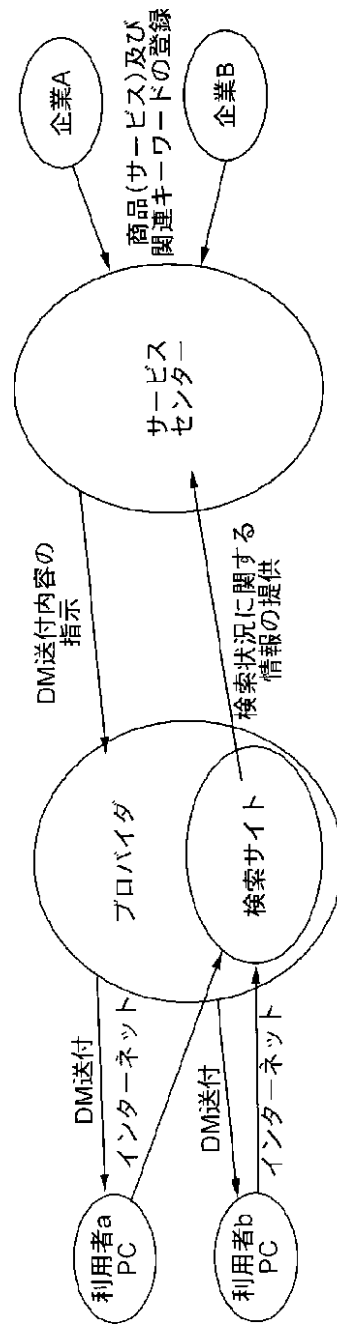
この登録したDMデザインがそのまま検索サイト利用者に送付されます。  
(検索サイト利用者が問合せ等できるよう、下記にドメイン名、メールアドレスの記入を御願います。)

詳しくは : http://www.penta-ocean.co.jp

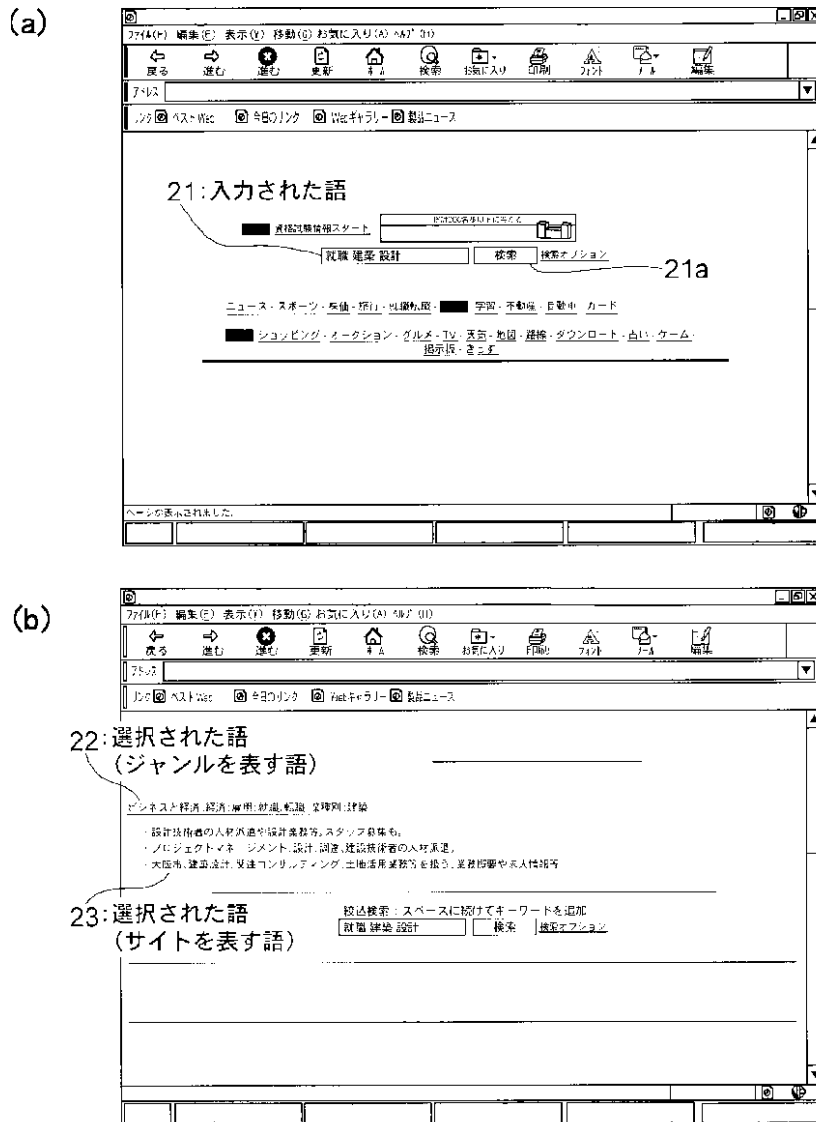
その他問合せ先 : Hideyuki.kasuya@Mail.penta-ocean.co.jp

(7)

【図1】



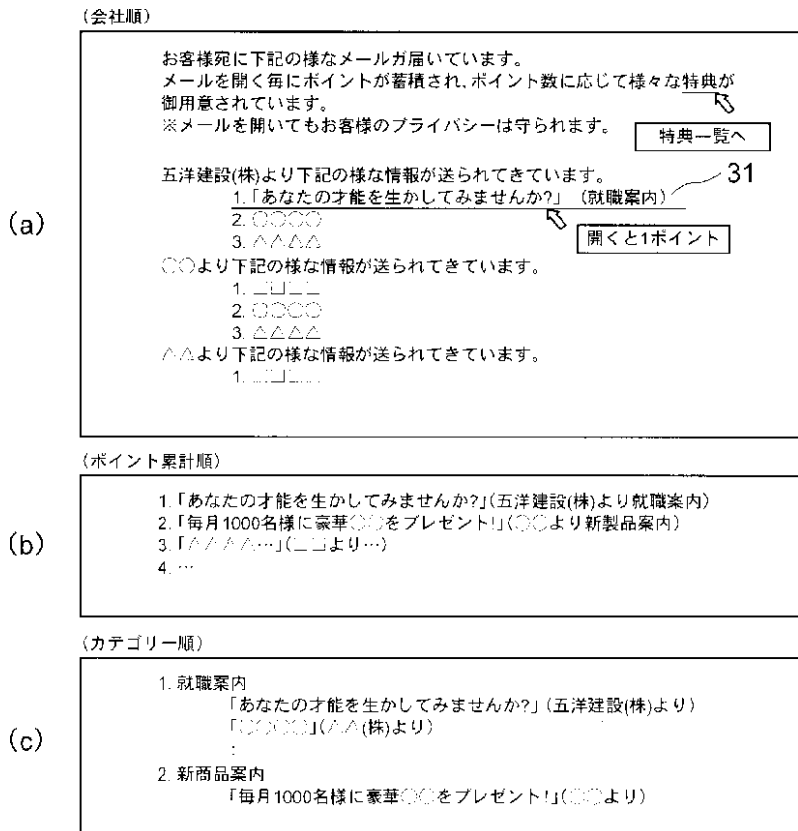
【図3】



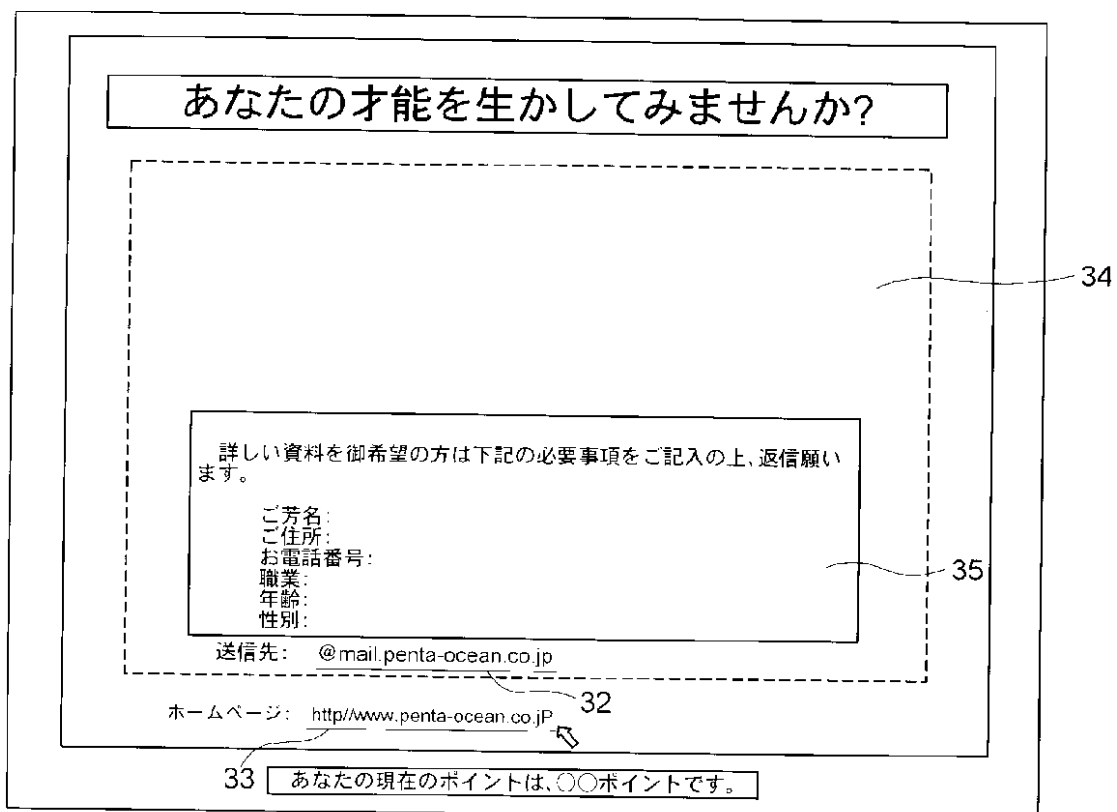
(b)



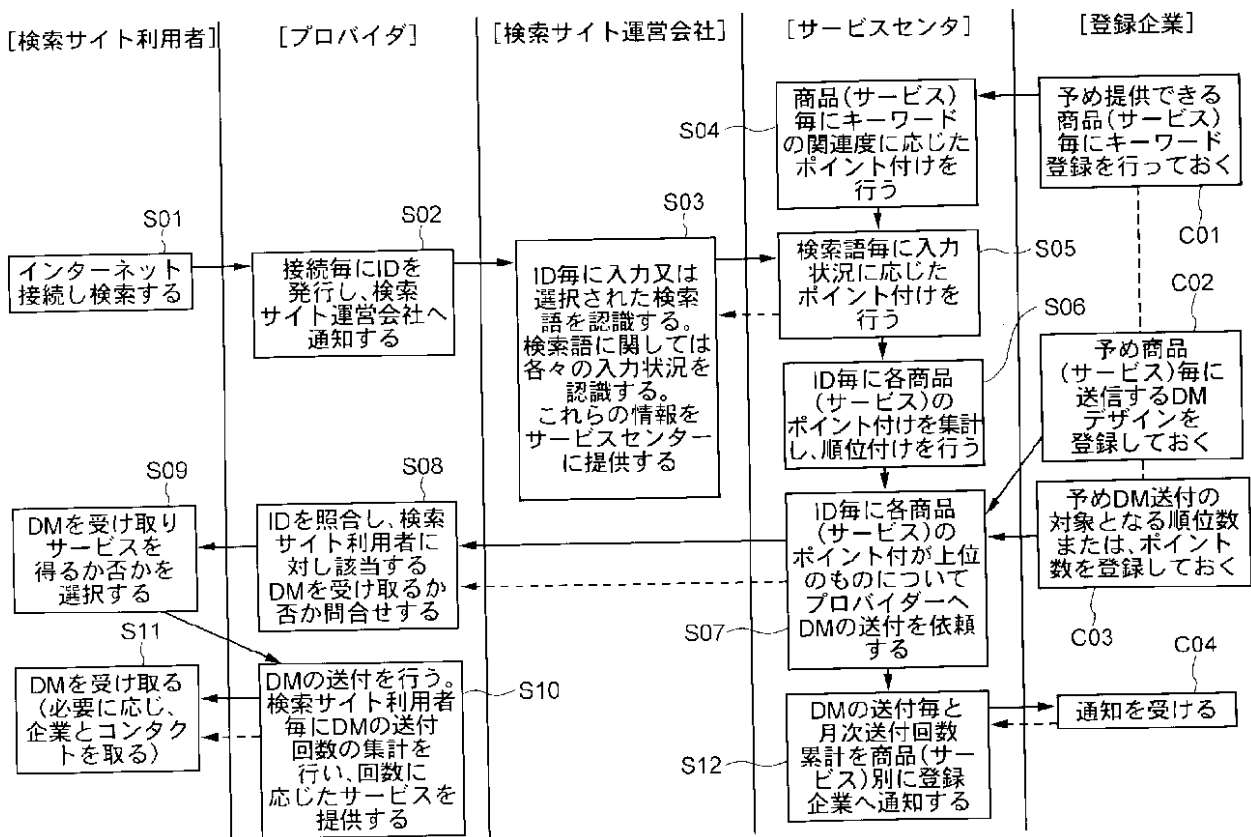
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(56) 参考文献

- 特開2000 - 57157 ( J P , A )
- 特開 平9 - 134371 ( J P , A )
- 特開 平10 - 232893 ( J P , A )
- 特開 平10 - 320413 ( J P , A )
- 特開 平10 - 320415 ( J P , A )
- 特開 平10 - 326245 ( J P , A )
- 特開 平11 - 15840 ( J P , A )
- 特開 平11 - 66081 ( J P , A )
- 特開 平11 - 110410 ( J P , A )
- 特開 平11 - 149478 ( J P , A )
- 特開 平11 - 296537 ( J P , A )
- 特開 平11 - 345244 ( J P , A )
- 特開2000 - 57213 ( J P , A )
- 特開2000 - 76307 ( J P , A )
- 特開2000 - 90111 ( J P , A )
- 特開2000 - 137725 ( J P , A )
- 特表2000 - 501868 ( J P , A )

(58) 調査した分野(Int.Cl.<sup>7</sup>, D B名)

G06F 17/30	340
G06F 17/30	110
G06F 13/00	540
G06F 17/60	326

J I C S T ファイル ( J O I S )